

# 平成23年山梨県観光入込客統計調査結果 概要

※（ ）内のページ数は調査報告書での記載箇所に対応

## 調査方法 ～ 観光入込客統計に関する共通基準(観光庁)に基づく調査 ～

### [調査基準の変更]

- 平成22年4月より、観光庁が定めた全国共通の「観光入込客統計に関する共通基準」を導入
- 平成22年調査のみ年度集計とし、平成23年調査からは暦年(1月1日～12月31日)集計
- 主な変更点

項目	観光入込客統計調査(H22.4～)	観光客動態調査(～H21)
調査対象	年間入込客数が1万人以上または特定月で5千人以上の観光地点(H23は399地点)	観光地点(816地点) データ調査(交通施設利用者数)
調査方法	全観光地点を市町村経由で照会	観光地点のみ市町村経由で照会
	未回答施設は集計しない	未回答施設は推計のうえ、集計する
	イベント、行祭事は実人数に含まない	イベント、行祭事は実人数を含む
調査頻度	宿泊者数は観光庁の「宿泊旅行統計調査」の数値を使用	宿泊者数は県の「宿泊客調査」の数値を使用
調査頻度	・四半期毎	・年1回

### [観光入込客数調査] : 399地点(施設等301地点、行祭事・イベント98)

- 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

### [宿泊客数調査] : 1,344施設

- 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

### [アンケート調査] : 3,304サンプル

- 対面聞き取り方式
- 四季毎に、年4回×県内10箇所で開催
- 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関等

## 平成23年調査結果

### ～観光入込客数調査結果～

#### ■観光入込客数(P7,P9,P17)

- 実人数(全体) 23,554千人(うち訪日外国人211千人(※))
  - ※訪日外国人客数についてはアンケート調査のサンプル数が十分確保できず、誤差が大きい数値となっている可能性がある。
- ・日帰り/宿泊
  - 日帰り客数 18,133千人(構成比77.0%)
  - 宿泊客数 5,421千人(構成比23.0%) うち訪日外国人客数 160千人
- ・県外/県内
  - 県外客数 18,586千人(構成比78.9%)
  - 県内客数 4,968千人(構成比21.1%)
- ・圏域別
  - 峡中 3,792千人(構成比16.1%)
  - 峡東 4,614千人(構成比19.6%)
  - 峡南 1,815千人(構成比7.7%)
  - 峡北 3,503千人(構成比14.9%)
  - 富士東部 9,830千人(構成比41.7%)
- ・一人あたりの観光消費額 10,523円

### ～アンケート調査結果より～

- 観光客の居住地(P47,P48)
  - 来訪者の多い県の順位は、東京都(29.5%)、神奈川県(14.8%)、静岡県(13.1%)となっている。
- 観光客の交通手段(P63)
  - 調査地点までの利用交通機関は、「マイカー」(77.5%)が最も多く、次いで「貸切・観光バス」(7.5%)と続く。
- 旅行目的(複数回答)(P55)
  - 県外観光客の旅行目的は「自然を楽しむ」(33.7%)が最も多く、次いで「温泉を楽しむ」(28.9%)と続く。
- 同行者(P57)
  - 県外観光客の同行者は「家族」(70.3%)が最も多く、次いで「友人」(18.9%)と続く。
- 山梨への訪問頻度(P59)
  - 県外観光客の山梨を訪れる訪問頻度は「1年に1回以上」が60.1%と最も多く、次いで「2～3年に1回程度」が19.8%と続く。
- 旅行計画の参考資料(P62)
  - 県外観光客の旅行計画の参考資料は、「家族、友人の話」が最も高く34.5%、次いで「インターネット」が32.9%と続く。

## 前年比較及び分析結果 ～ 平成22年と平成23年との比較 ～

- ◆H22年4月から調査基準を変更したことにより、前年調査結果との通年での単純比較が困難なため、以下の2つの手法により前年比較を行う。

- ①調査基準が同一の4月～12月期は、実人数で前年同期と比較分析
  - ②調査基準が異なる1月～3月期は、延べ人数で前年同期と比較分析
- ※いずれの方法においても、延べ人数比較については参考値として扱う

### [比較・分析結果]

- 4月～12月期観光入込客実人数は県全体で対前年比90.3%となり、9.7%の減少となった。1月～3月期の観光入込客延べ人数は対前年比80.6%となり19.4%の減少となった。
- 主な減少要因は、3月に発生した東日本大震災の影響によるものと考えられ、この影響は通年で本県観光に陰を落としたとみられる。
- 一方、家族で気軽に訪れることができる身近な施設として、スポーツレクリエーション施設や日帰り温泉、道の駅などが好調に客数を伸ばした。
- 月別では、3月、4月は東日本大震災及び福島原発事故の影響による首都圏の計画停電、ガソリンの高騰、行祭事・イベント等の開催の自粛により、国内外の観光旅行の動きが停滞した。
- 5月、6月にかけては、ETC上限千円割引の廃止や高速無料化社会実験の凍結による駆け込み需要が高まったことなどから観光客数は一時的に盛り返したが、夏季は猛暑や台風の多発といった天候不順などにより落ち込み、10月以降も伸び悩んだ。7月～12月は前年比8～9割の水準で推移した。
- 圏域別では、全ての圏域で前年よりも減少した。4月～12月期で比較した場合、峡中、峡東及び峡北の各圏域では6%程度の減少で推移した。一方、峡南及び富士・東部圏域では、やや減少幅が大きくなった。

### [月別観光入込客数分析(4月～12月)]※調査基準が同一の4月～12月期で比較(P18)

～平成23年4月～12月期観光入込客実人数は平成22年と比較して9.7%の減少～

(単位:人)

	平成22年		平成23年		
	観光客入込数	構成比	観光客入込数	構成比	対前年比
4月	1,776,220	8.1%	1,562,195	7.9%	88.0%
5月	2,131,758	9.7%	2,447,313	12.3%	114.8%
6月	1,517,021	6.9%	2,010,492	10.1%	132.5%
7月	2,413,223	11.0%	2,017,148	10.1%	83.6%
8月	3,972,347	18.0%	3,288,728	16.5%	82.8%
9月	2,155,430	9.8%	1,751,124	8.8%	81.2%
10月	3,187,199	14.5%	2,856,799	14.4%	89.6%
11月	3,113,676	14.1%	2,534,313	12.8%	81.4%
12月	1,747,126	7.9%	1,407,888	7.1%	80.6%
計	22,014,000	100.0%	19,876,000	100.0%	90.3%

### [圏域別観光入込客数分析]※調査基準が同一の4月～12月期で比較(P20)

(単位:人)

	平成22年		平成23年		
	観光客入込数	構成比	観光客入込数	構成比	対前年比
峡中圏域	3,286,906	14.9%	3,074,563	15.5%	93.5%
峡東圏域	4,193,499	19.1%	3,950,944	19.9%	94.2%
峡南圏域	1,670,855	7.6%	1,487,150	7.5%	89.0%
峡北圏域	3,221,277	14.6%	3,024,927	15.2%	93.9%
富士・東部圏域	9,641,463	43.8%	8,338,416	41.9%	86.5%
計	22,014,000	100.0%	19,876,000	100.0%	90.3%

### [参考・月別観光入込客数分析(1月～3月)]※調査基準が異なる1月～3月期については参考値扱い(P32)

- ※調査対象地点のうち、平成22年及び平成23年の両年で回答があった地点(255地点)のみを抽出し、観光入込客延べ人数で比較を行った。

～平成23年1月～3月期観光入込客延べ人数は平成22年と比較して19.4%の減少～

(単位:人)

	平成22年		平成23年		
	回答施設等延人数	構成比	回答施設等延人数	構成比	対前年比
1月	2,624,259	35.6%	2,459,286	41.3%	93.7%
2月	2,139,510	29.0%	1,979,625	33.3%	92.5%
3月	2,612,721	35.4%	1,510,071	25.4%	57.8%
計	7,376,490	100.0%	5,948,982	100.0%	80.6%